

美 唄

B i b o i

平成 19年度社団法人美唄歯科医師会臨時総会並びに社保伝達講習会

標記総会が3月26日 午後6時30分より「ホテルスエヒロ」において開かれた。

通常通り報告事項承認の後に平成20年度事業計画案、平成20年度一般会計予算案、また特別会計として美歯会60周年に向けて「50年のあゆみ」以降の10年間の美歯会の歴史をPDFファイルにして残す事業・生涯研修事業に関しノートブックパソコンの購入・公益法人化に向けて役員の任期を3年から2年への変更が決まりました。

また、承認事項として後期高齢者医療制度への移行に伴い、歯科国保委員交代の告示がなされた。雨田先生には長年有難うございました。

引き続き、次年度診療報酬改定に伴う社保伝達講習会を講師に芦田道歯常務理事を迎えて行われ、今回の改訂では、日歯が単に保険点数のアップを図るのではなく、技術や施術の時間等を考慮して点数の改正に向かったとの説明がなされた。また、単に点数のアップ率よりも先進医療技術や新規医療技術の保険導入が若い先生にとってはよかったのではないのでしょうか？何年か前に歯科の点数が上がらないのは医科と違い、新しい技術の導入がなく、治療の内容が何十年も変わっていないためだと聞いたことが有ります。これからも収入のアップという観点からではなく、新しい技術や私たちの医療に対する貢献度の帰結としての点数アップが行われたらと思いました。

今回の講習会は今までになく、質問を受け付けないものでした。その意図するところは理解したのですが、参加した会員には頭のなかに大小のクエッションマークが残ったの帰宅となつたのではないのでしょうか？ (孫 泰一記)

歯科医療、介護連携推進会議

3月19日、空知保健福祉事務所保健福祉部主催で標記会合が「空知支庁」にて開催された。

平成18年4月の介護保健法一部改正により、新予防給付及び地域支援事業として口腔機能向上サービスが導入されるなど介護保険関係諸機関と歯科医師や歯科衛生士の専門職種との連携体制を構築すべく、中山 司保健福祉部主任技師が中心となり交流の場が持たれた。

参加者は近隣の地域包括支援センター・通所介護事務所・介護老人保健施設・介護老人福祉施設の方々、歯科からは鍵谷岩歯会長をはじめ岩見沢歯科医師会から9名・北海道歯科衛生士会岩見沢支部からの的場支部長の他3名、そして当会から4名が参加した。

現状の取り組み状況と課題、要望等意見の交換を行うことができ、有意義な場が提供されたと思う。

百里の道も一歩からという。目的達成には、長い道のりが想定されるものの、保健所サイドからの、このような場が設定されたことを高く評価したいと思う。(小森英世記)



室 蘭

M u r o r a n

第93回臨時総会

3月6日 午後7時より室歯会館斎藤記念講堂において、標記総会が開催された。仲川弘誓専務理事の司会で始まり、まず開会に先だちご逝去された和久昌敬先生と雲津忠宣先生に黙禱が捧げられた。

仲川専務理事より開会の辞が発せられ、飯淵義久会長より挨拶があり、その後、議長に江端憲一先生、副議長に三浦義隆先生が選出され、議事録署名人に堅田 裕先生、森 勝彦先生が指名された。

報告事項では仲川専務理事より会務報告、各担当理事から事業報告、由川 一先生から道歯代議員報告、飯淵会長から会長会議報告、深瀬会計担当理事より平成19年度一般会計現況報告、水野文晴監事より監査報告がなされた。

議決事項では第1号議案(平成20年度事業計画案承認に関する件)が質疑応答の上、可決承認。第2号議案から第5号議案(平成20年度一般会計、斎藤修吾基金、地域歯科医療特別会計、福祉共済会特別会計各予算案)が一括上程され質疑応答の上、可決承認。第6号議案(平成20年度労働保険事務組合一般会計予算案)が質疑応答の上、可決